

かで、『糖尿病の患者さんに、「私はメタボにならないでしょうか」と訊ねられた』というエピソードを伺った。マスコミや自治体を通して広く認知された「メタボ」であるが、「メタボ」＝「オデブさん」のイメージのみが先行して、正しい知識を知っていただく機会は意外と少ないのかもしれない。そうであれば今回の一般市民向け講座は、公益活動として有意義なものに違いない。

【白波瀬浩幸】



◇ 中国地区

鳥取県臨床検査技師会は、日臨技委託・生活習慣病予防啓発活動を 2 月 11 日(祝)鳥取市で市民公開講演会として実施し、多数の市民の方にも参加していただきましたので報告いたします。

『生活習慣病を見直そう～健康とはどんなこと～』のテーマで、特に、鳥取赤十字病院健診部副部長の塩宏先生による『生活習慣病予防 100 歳長寿をめざして』と題した健康長寿についての講演は大変楽しく興味深い内容でした。

平均寿命は世界一ではあるが、寝たきり期間が長く治療によって生かされている方が多いこと。今日から始める健康で長生きのコツはバランスの良い食事(腹七分)、運動(歩く)、コミュニケーション(人と接する、会話)、笑う(腹の底から)、アルコール(休肝日)、ストレス解消(ポジティブ思考に)などなど。

「とても分かり易い講演、機会があればぜひまた！」と市民の方からの声もありました。



今回の企画については、毎年開催している鳥取市民健康ひろばの技師会検査コーナーで検査された方に案内状を送付したり、世界ジオパーク加盟を目指している山陰海岸をモチーフにした技師の手作りポスターを公的機関や各施設に掲示さ

せて頂くなど、市民公開講演会開催についてホームページ掲載などの広報活動を行いました。

講演会に参加された方には、技師会名入り封筒に技師会リーフレット・カットパン、糖尿病の検査などの資料をお渡し、技師会をアピールしました。今後も公開講演会などを通して、臨床検査技師がより身近な医療職として認知され、市民の健康と予防に寄与できればと思います。

【長谷川愛子】

◇ 四国地区

去る、2 月 20 日(土)、「生活習慣病予防フォーラム～臨床検査技師と一緒に健康を考えよう～」をイオンモール高知にて開催しました。

このイベントは、日臨技の生活習慣病に関する公益事業として、高知県臨床検査技師が企画・開催しました。

テーマが生活習慣病ということもあり、日頃から関わっているチーム医療の特徴を取り入れようと、自分達の持てるルートを使い他職種の先生方を頼り、「食事バランスチェック」、「骨密度測定」、「AED 体験講習」、「検査値に関する相談」の 4 つのコーナーを設けて実施しました。

フードモデルとパソコンを組み合わせたシステムを使用した「食事バランスチェック」コーナーには、ゲーム感覚でチェックできることもあり、成人の方とはより、意外にも中高生が興味を持ち、日頃の食生活について一喜一憂している姿がとても印象的でした。

「AED 体験講習」コーナーでは、小中学生や地域の方が、このコーナー目当てに来場し、熱心に AED を体験していました。健康や人命救助への意識が若い世代にも浸透していることを実感しました。

「骨密度測定」コーナーや「検査値に関する相談」コーナーは、やはり中高年の方の関心が深く、「検査の話が詳しく聞けるとして...」と成人検診の結果を持参して来られた方や、「主治医の先生にはなかなか聞けないから」と納得できるまで質問をされた方もいらっしゃいました。長時間に亘って相談をされる方が多く、「これを改善するためにはどんなものを食べたらいいの？」と続けて食事相談を希望されるなど、色々な話を聞くことができて満足されたようでした。

「たくさん勉強になった」、「またこういうのをやって欲しい」といった声も聞かれ、検査説明など臨床検査技師の職種を活かした関わりの必要性を実感しました。また市民向けの健康イベントにおいては、他職種とのチームプレーは不可欠であることが再認識されました。

今回のイベントの告知については、ポスターの掲示やリーフレットの配布だけで

なく、高知県臨床検査技師会では初めてのテレビによるイベントの告知を行いました。

当日、「じゃらんじゃらんモーニング」



というローカル生番組のイベント告知コーナーに山地会長が出演し、私達が持ち手位置まで指定したポスターを持って、1 分間、イベントの告知と臨床検査技師の職アピールをしました。思いのほか緊張し、人前で話すことに慣れているはずの会長の左手がわずかに震えていたとかいいたいか...?

会長は、収録終了後テレビ局から会場に駆け付け、そのままスタッフに早変わり...! 来場して下さった方々に「あなたの顔をテレビで見てきたのよ」と話しかけられ、改めてテレビの効果を実感、結果、心配していた来場者数も 160 名を数えました。こういうメディアを通してのアピールができたこともこのイベントの大きな成果だと思っております。これからも「使えるものは親でも教授でもテレビでも使え!」の精神で、チーム医療と臨床検査技師の職アピールに取り組み、地域に貢献していきたいと考えます。

今回のイベントを通して、高知県臨床検査技師会員の結束の強さを再認識しました。イベントは 10:00～15:00 の開催でしたが、会場のイオンモールは規律が厳しく、機材の搬入・撤収は営業時間外に行わなければならない、イベント終了後 22:00 からの撤収となりました。

休日遅くまで、会長をはじめとした当日スタッフ達が快く作業を引き受けてくれ、僅か 30 分足らずで撤収することが出来ました。

今回のイベントが無事開催できたのも、ひとえに皆さんのお陰だと心から感謝しています。こういう会員同士の繋がりが高知県臨床検査技師会の何よりの宝だと思います。本当にありがとうございました。

【高野静香】

◇ 九州地区

福岡県技師会では、2 月 13 日(土)に“受けていますか? 特定健診～生活習慣病を見逃さないために～”をメインテーマに、特定健診の市民公開講演会を開催いたしました。

講演①は、“福岡市における特定健診の取り組み”をテーマに、福岡市保健福祉